

「ダメ。
ゼツタイ。」

2024

10/18

18:00-20:00

だけでは



「ダメ。
ゼツタイ。」

時代と逆行するニッポンの薬物政策



一般社団法人刑事司法未来
石塚伸一代表、南口芙美さん



NPO法人ウィークタイ
泉翔代表

「アディクション」の対義語は「コネクション」。孤立を深める「ダメ。」だけで本当にその人を救えますか？



主催  **せんちぴーど** 

本イベントは日本フィランソロピック財団じりつチャレンジ基金のご支援の下実施致します。

連続イベント

矯正・保護分野外の支援者等に対する

グアンシー
ミントレッグの
みんとちゃん

更生支援の啓発活動 in大阪府茨木市

『ダメ。ゼッタイ。』だけでは『ダメ。ゼッタイ。』 ～時代と逆行するニッポンの薬物政策

「市民のための犯罪学」をモットーに活動される刑事司法未来のお二人に、世界から見た日本の薬物政策についてをご教授いただきます。昨年成立した大麻使用罪の問題点、ハームリダクション、ドラッグコートなどを踏まえて、わが国の「ダメ。ゼッタイ。」だけで厳罰化している問題点を考えます。

日時 10月18日(金)18時～20時 ※開始30分前に準備、終了30分後には撤収いたします **会場** 西光寺(大阪府茨木市西河原1丁目7番2号)

ゲスト 一般社団法人刑事司法未来 石塚 伸一 代表 理事
弁護士。龍谷大学名誉教授。龍谷大学「矯正・保護研究センター」の設立に参加。2014～2020年日本犯罪学会長。2016年龍谷大学犯罪学研究センター長。2018年アジア犯罪学会理事。専門は刑事政策・犯罪学。研究テーマは受刑者の権利、監獄の歴史、死刑、薬物、宗教教誨、生命倫理など多岐にわたる。著書「薬物政策への新たな挑戦：日本版ドラッグ・コートを越えて」、「大麻使用は犯罪か？大麻政策とダイバーシティ(編著)」など。

一般社団法人刑事司法未来 南口 芙美 理事
アンガーマネジメントファシリテーター／MBTI認定ユーザー。龍谷大学法学研究科修士課程・法科大学院修了。2013年～社会福祉法人南高愛隣会にて、厚生労働省社会福祉推進事業を担当するほか、刑事司法と福祉の連携、社会福祉法人における法務専門職のあり方、障害者虐待防止をふまえた組織づくり等に取り組む。2023年より合同会社黒子サポート代表。

対談相手 NPO法人ウィークタイ 泉 翔 代表
自身のひきこもり体験を経て2014年、同じ経験を持つ仲間らと生きづらさを抱えた若者のための当事者団体「NPO法人ウィークタイ」を設立、代表を務める。現在は豊中市内で、居場所活動や、家族関係がしんどい方向けの短期滞在(レスパイト)といった居住支援に力を入れている。国内で治療困難な疾患のため海外で医療を受けているが、その中で大麻医薬品を併用し劇的に症状が改善、以後エビデンスに基づかない日本の大麻政策に疑問をもちつつ、同様の患者らに対して医療ツーリズムのサポートなども行っている。

参加費 無料 **対象** どなたでも可 **定員** 45名 **問合せ** centipede.hey@gmail.com

合理的配慮 障害上の合理的配慮が必要な場合は申し付けください※必要に応じてアーカイブ配信を行います。

① 今後のイベント一覧 ※①会場・参加費・対象は同じです。②定員は各16名

捜査・取調べ段階において障害のある方が陥るワナ～無実は無実とするために(仮)

現行の刑事司法制度上の心理学的問題や、障害を持つ方が捜査・裁判段階でトラブルに巻き込まれる課題などを「法と心理学」の観点からご教授いただきます。

ゲスト 立命館大学総合心理学部 若林 宏輔先生 **日時** 10月10日(木)18時～20時※変更の可能性あり

罪を犯した方が『仕事』と『住まい』につながるためには～茨木市の居住支援法人の取り組み

茨木市で数少ない居住支援法人の登録をされている社会福祉法人秀幸福社会の神野さんに、罪を犯した方が住まいを見つけたり、仕事に就くためにはどのような支援が必要かをご教授いただきます。なぜ「住まい」に重点を置いて活動されてきたのか、その想いを伺いたと思います。

ゲスト 社会福祉法人秀幸福社会 神野享士さん **日時** 10月30日(水)18時～20時

CSW(コミュニティソーシャルワーカー)。社会福祉法人秀幸福社会庄栄エルダーセンター施設統括。知的障害者の支援、老人デイサービスセンター長を歴任。2000年～ケアマネージャー、特別養護老人ホームを経て、2007年から社会福祉法人秀幸福社会で活動する。居住支援法人登録前から、障害を持った方などの「住まい」の重要性を感じ、CSWの活動を行ってきた。

② イベント開催の背景と代表のおもい

今から20年ほど前、刑務所を出た知的障害を持つ高齢の方が生活保護の申請を拒否され、刑務所に戻りたいという思いから駅に放火・全焼させた事件がありました。社会の「被害者」が刑務所にいるという事実があるのです。私には性被害体験を受け自傷行為や過量服薬を行ってきた過去があります。「非行・犯罪」という「加害」の背景には、私が経験したトラウマ・虐待・いじめ・障害・貧困などの「被害」があることも少なくないのです。更生の支援のためには、多くの分野の支援者の力が必要です。これを機に多くの方に罪を犯した方を社会で支える重要性を知っていただけたら幸いです。
by任意団体せんちぴーど 代表 百足”むかで”

主催 せんちぴーど

協力 茨木地区BBS会・西光寺こや

後援

次なる
茨木へ。

社会福祉法人
大阪ボランティア協会

謝辞

本イベントは日本フィランソロピック財団じりつ
チャレンジ基金のご支援の下実施致します。
公益財団法人
日本フィランソロピック財団
Japan Philanthropic Foundation



申込はQRコード
からお願いします



申込はQRコード
からお願いします



申込はQRコード
からお願いします



「ダメ」なのは自分の意志の弱さなのかな...?

無実です。や
ってません...



申込はQRコード
からお願いします

イベント概要の詳細



自宅は
快適なのだ...

【上記の日時では参加できない方へ】
右のQRコードから他のイベントの確認や
シェアだけでもしていただいただけませんか？